

2017年度 JSSR 第2回倫理委員会 議事録

日時 平成29年4月14日 7:00-8:30

場所 ロイトン札幌 3階 エメラルドB

【出席者】

- 担当理事 永島 英樹（鳥取大学）
委員長 高橋 寛（東邦大学医療センター大森病院）
委員 青木 保親（東千葉メディカルセンター）
関口 美穂（福島県立医科大学）
土井田 稔（岩手医科大学）
松永 俊二（今給黎総合病院）
宗像 雄（関谷法律事務所）
- オブザーバー 山田 浩司（関東労災病院：日本脊椎インストラメンテーション学会より）
岩崎 幹季（大阪労災病院：新技術評価検証委員会より）
中村 雅也（慶應義塾大学：同）
金森 昌彦（富山大学：診断評価等基準委員会より）
種市 洋（獨協医科大学：データベース委員会より）
松山 幸弘（浜松医科大学：同）

1. 宗像委員によるレクチャー

「人を対象とする医学系研究」において求められるインフォームド・コンセント等～
改正された倫理指針の解説～

他の委員会に所属の委員も含め、宗像委員のレクチャーを受けた。各自質問し、宗像委員が回答した。

2. 倫理委員会

・その後、他の委員等の退出後、倫理委員会よりレクチャーの内容について質問を受け付け宗像委員が回答した。

・続いて、永島理事より理事会報告がなされた。大きく2点あり、

日本脊椎インストラメンテーション学会から申請のあった倫理審査（3月の委員会で検討した議案）については、内容に不備があったとして先方から取り下げられたこと

倫理審査した研究等の実態を監査するモニタリングを、どのように行うか検討するよう、倫理委員会への指示があったこと

であった。

また、倫理審査申請時の書式については、現状各施設所有のものに、宛名を当学会の理事長としてもらい流用しているが、今後当学会独自の書式を作るべきかとの問いかけがなされ、一同検討した。

高橋委員長が、各施設のフォーマットは日本医師会の様式に準拠したものであるはずなので、特に学会用には無用だと考えると意見を述べ、一同賛同した。

3. その他

次回の委員会開催日程について、日整会会期中の5月19日金曜日 朝。

議題としては、 L I F 調査のオプトアウトの内容について
倫理審査後のモニタリングの方法等について
などを予定。

以上